

介護保険があぶない!?

～バアサンもジイサンも家族も介護従事者も事業者も
医療者も、み～んな怒ってるぞお～

このままだと「制度の持続性」の名のもとに、
介護保険がますます使えなくなるかも。

介護保険の後退を絶対に許さない。1.14 院内集会
(2020.1.14 15:00～17:00 衆議院第一議員会館地下1階大会議室)

NPO法人高齢社会をよくする女性の会（理事長・樋口恵子氏）とNPO法人WAN（理事長・上野千鶴子氏）は共催で、「介護保険の後退を絶対に許さない。」のテーマで1.14院内集会を開催しました。

高齢者の在宅生活を支える訪問介護、訪問看護、訪問医療、および地域密着型サービスの専門職、事業者、利用者を一堂に会して、介護保険の後退は絶対に困る、とそれぞれの立場から訴えるリレートークを実施しました。（ホーモイは上記2つのNPO法人の会員です。）

◎実施の背景と目的

要介護高齢者の在宅生活を可能にする成熟社会へ

「制度の持続性」の名の下に、介護保険の利用を抑制し、利用者負担を増加する方向へと改定案の詰問が検討されました。この改定は、地域包括ケアにもとづいた高齢者の在宅生活の基盤を掘り崩すものです。

今回は先送りされましたが、連帯して以下の改定に強い反対の意を表明し、今後も介護保険の後退を許さず、要介護高齢者の在宅を守っていきたいと考えます。

- ① 要支援はずしを許さない。
- ② 要介護1・2はずしを許さない。
- ③ 生活援助はずしを許さない。
- ④ ケアプラン有料化を許さない。
- ⑤ 利用者負担率の増加を許さない。
- ⑥ 介護報酬の切り下げを許さない。

介護保険が成立してから20年、介護保険は改定のたびに後退に次ぐ後退を経験してきました。これ以上後退を許せば、要介護高齢者の在宅生活は崩壊します。強い反対の意志を示しておきたいと考えます。

「介護保険があぶない？」に思う

コロナ禍の中、時間ができ、WANのオンライン動画配信を見ました。ホーモイは施設調査の準備のため、2018年～2019年の2年間で実際に施設見学を8か所しました。その感想から、「出来れば在宅介護で頑張りたい」と思う方が多くいました。

それなのに介護保険で在宅介護が程遠くなるような改定が行われるとは。院内集会での国民の声をまとめたものが、国会に提出され、今は介護保険の改定は先送りになっています。

介護保険は改定の度に、後退に次ぐ後退を経験してきました。これ以上後退を許せば、要介護高齢者の在宅生活は崩壊します。

私たちは自分を守るためにも、目を向け、注視していかなくてはなりません。チョコちゃんじゃあーないですが、ボーとしていたら私たちの命取りになりかねません。

ホーモイ代表 田中隆子